

官民一体で取り組む関西広域観光戦略

～関西国際観光推進本部の設立とKANSAI ONE PASSの販売開始～

関経連では、昨年2月に「関西広域観光戦略」を取りまとめ、本戦略に基づいた取り組みを進めている。今年3月には、「関西国際観光推進本部」を設立し、官民一体で関西広域の観光振興をはかる体制を確立。さらに4月からは、訪日外国人旅行者向けの関西統一交通パス「KANSAI ONE PASS」の販売を開始した。本号では、関西国際観光推進本部設立の経緯や関西広域のインバウンド拡大に向けた取り組みを紹介する。

推進体制確立の必要性

関経連では昨年2月に、関西広域の視点に立ち、インバウンド拡大に向けた取り組み「関西広域観光戦略」を取りまとめた。これまで関西の広域観光振興については、関西地域振興財団が中心となり、国際観光をはじめとする官民連携事業を担ってきたが、2017年度で本事業が終了することから、新しい体制の確立が急がれていた。

関西広域での観光振興に取り組むためにも、また、本戦略を着実に進めていくためにも、官民連携の体制を構築する必要があり、関西地域振興財団、関西広域連合、そして当会が中心となり、今年3月に「関西国際観光推進本部」(以下、観光推進本部)を立ち上げた。観光推進本部では今後、各地域の自治体や観光推進団体などとともに、情報発信や環境整備といった共通して取り組める事業を推進していく。

観光推進本部の設立

観光推進本部は、昨年7月に開催された関西広域連合と関経連との意見交換会で立ち上げが正式に合意され、その後、設立に向けた準備委員会で検討を重ね、今年1月の関西広域連合と関西経済界との意見交換会において、3月中の設置が合意された。さらに、2月に開催した第54回関西財界セミナーで採択された宣言に、関西は観光推進本部を核とし

「関西国際観光推進本部」の概要

設立の目的：

関西の官民が一体となって、関西を世界に売り込み、外国人観光客の誘致を推進すること。

役員：

本部長 井戸敏三(関西広域連合長)、森詳介(関経連会長)

本部長代行 山田啓二(関西広域連合委員(広域観光・文化・スポーツ振興担当))、角和夫(関経連副会長)

事業：

- ①「KANSAI国際観光指針」の策定
- ②「KANSAI国際観光行動計画」の策定および提示
- ③関西をアピールするリーディングプロジェクトの実施
 - 広域観光周遊ルート形成促進事業「美の伝説」、[KANSAI ONE PASS]事業、無料Wi-Fi整備
 - 関西ブランドの発信、マーケティング調査
- ④参画団体が実施する国際観光事業の総合調整
- ⑤その他、目的達成のために必要な取り組み

参画団体：

自治体、経済団体、業界団体、事業者、観光推進団体など52団体、オブザーバーとして国の出先機関など8団体

「KANSAI ONE PASS」の概要

価格 3,000円(カード発行預り金デポジット500円を含む)
*チャージ上限は2万円

販売枚数 3万枚

販売条件 訪日外国人のみ *購入時にパスポートを確認

販売開始日 2016年4月8日(金)

実証実験期間 2016年4月8日(金)～2017年3月31日(金)

販売場所 関西空港駅および京阪線の主要駅など19カ所

利用可能範囲 「ICOCA」利用可能エリア



© Tezuka Productions

ンバウンドを拡大する旨が盛り込まれた。これらの動きを経て、3月24日に設立した観光推進本部は、自治体や経済団体、業界団体、事業者、観光推進団体など52団体に加え、オブザーバーとして国の出先機関など8団体が参画。本部長には、井戸敏三・関西広域連合長と森詳介・関西経連会長が、本部長代行には、山田啓二・関西広域連合委員と角和夫・関西経連副会長が就任し、この日をもって正式に活動がスタートした。

設立会議の冒頭、森会長は「観光推進本部の設立を機に、関西広域の団結がますます強固なものとなり、インバウンドがさらに拡大することを期待している」と述べた。



観光推進本部 設立会議にて
(左から山田本部長代行、井戸本部長、森本部長、角本部長代行)

「KANSAI ONE PASS」の 販売開始

関西は、交通インフラが高度に発達している一方、外国人旅行者からは、乗り継ぎや乗車券の購入

方法が複雑でわかりにくいとの声があがっている。こうした問題に対応するため、当会では2015年から、関西の9つの主要鉄道事業者や新関西国際空港(株)(現関西エアポート(株))などと立ち上げた「関西ワンパスワーキンググループ」で検討を重ね、今年4月から、訪日外国人旅行者向けの関西統一交通パス「KANSAI ONE PASS」の試験販売を開始した。

「KANSAI ONE PASS」は、JR西日本の「ICOCA」をベースとするチャージ式の交通ICカードで、ICOCA利用可能エリアの鉄道・バスが1枚のカードで利用できる。また、関西の約150カ所のショッピング施設や観光スポットで利用可能な優待特典を付け、付加価値を高めた。

販売時には、鉄道路線マップ付き利用ガイドを配付するとともに、専用のモバイルサイトでは、優待特典情報や関西の観光情報が、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の4言語で照会できるようになっている。カードの表面には、関西にゆかりのある漫画家・手塚治虫氏のイラスト「鉄腕アトム」とともに、当会が関西広域連合などととも策定した「はなやか関西」シンボルマークをデザインすることで、外国人旅行者に対するKANSAIブランドの浸透をね

らっている。販売開始日の4月8日、関西空港駅で購入した旅行者からは、「使う分だけチャージできて便利」「記念に持って帰り友人に紹介したい」といった声が聞かれた。



「KANSAI ONE PASS」発売当日の関西空港駅の様子

インバウンドのさらなる拡大 に向けて

「KANSAI ONE PASS」については、試験販売の結果をふまえ、本格的な販売へと移行できるよう準備を進めるとともに、さらなる利便性の向上や観光情報の発信強化などにも取り組んでいく。

観光推進本部では今後、関西へのさらなる誘客に向けた指針と行動計画を策定するとともに、広域観光周遊ルート形成促進事業「美の伝説」や「KANSAI ONE PASS」事業、無料Wi-Fiの整備といったプロジェクトを推進していく。あわせて、観光推進本部が強いリーダーシップを発揮し、より実効性の高い組織となるよう、検討を進めていく。

(産業部 中西康真)